萩ジオパーク
推進協議会だより vol.76

萩ジオパーク推進協議会
｜2021年6月30日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765 0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

萩ジオユニバース 二〇二一、開講。

萩ジオユニバースは、主に萩ジオパークのエリア（萩市、阿武町、山口市阿東地域）内の市民・町民の皆さまを対象に地質や地形に目を向けることの大切さを知っていただく講座です。一緒に大地と人のつながりを楽しみましょう！

萩ジオパーク・オンライン講座
地球を食べる食堂

7月開催予定の講座

地球を食べる食堂
須佐ホルンフェルスとケンサキイカ編

食を切り口に“大地と人のつながり”に触れる『地球を食べる食堂』の今年度第１弾！新型コロナ対策のためオンライン開催します。今回は、須佐地域の特産“ケンサキイカ”をテーマにバーチャルツアーやクッキング教室を通して、大地の視点、漁師さんの視点、料理人の視点からじっくり味わいます。申込方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

大地の遊び人養成講座

大地の遊び人養成講座は、野外での遊びを通して大地と人の“つながり”を実感する力を養う体験型講座です。ロープワークや火おこしなどの外遊びの基本スキルを、まずは動画を見て練習しよう！現地で実際に遊ぶ実践編は8/7（土）から開始予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

萩ジオアカデミー

第一線の研究者に萩の大地の成り立ちを教わる『萩ジオアカデミー』。今年は昨年同様の動画配信に加え、秋以降に現地開催も予定しています。まずは、昨年度配信した講義動画が再びご覧いただけるようになりました（無料、要申込）。Web版に加えて、今年は萩市立図書館でも見られます。お好きな時に何度でもご視聴ください。

子どもも大人もジオパーク！

小学校から新人研修まで、萩ジオパークの学びは多様な場で生かされています。

田植え学習でもジオパーク！（椿西小学校）

6月16日、萩市立椿西小学校の田植え体験学習に合わせてSDGsとも絡めてジオパーク学習をしたいというご依頼をいただき、白井専門員がおじゃましました。水が張られた田んぼを観察して様々な生き物たちの住処にもなっていることを知ったり、地形図を見て川の働きと大地の成り立ちの関連性を知ったり、人の暮らしも自然の営みの一部であるということを感じてもらいました。学習の後にはみんなで泥だらけになりながら田植えをしました。一次産業は人が大地と向き合う中で産物を得るものです。地域の人々の営みを体験する中で大地に目を向けることの大切さを実感してもらうというとても良い機会となりました。

新規採用教員研修

6月18日には、新規採用教員研修の一部を担当しました。越ヶ浜・笠山を舞台に、普段学校向けにも行っている町歩きや火山実験を通して、教育における“体験”の重要性や、ジオパークが目指している“持続可能な開発”とはどういうものかを知っていただきました。町歩きも火山実験も、地元越ヶ浜の方を中心に活動する『笠山ジオの会』の皆さんに対応していただきました。終始和やかな雰囲気で、感動の声も何度も上がり、とても良い内容の研修となったのではないでしょうか。参加された先生方が、今度は子どもたちを連れて来てくださる日が楽しみです。

新規採用職員研修

6月9日、萩市の新規採用職員を対象とした研修の一貫で、“萩ジオパーク”を体感するツアーが白井専門員とジオガイドさんによって行われました。“ジオパークの概要となぜその目線が必要なのか”の説明後、城下町を実際に歩き、川内の地形を理解し、城下町を形成するための礎となった石垣に注目しました。最後に、その石垣の産地である笠山に赴き、当時の石切跡を見学しました。研修を通じて、先人がその地にあるものを工夫して利用していることを学びました。私たちも見習わなければならない部分があると感じる良い研修となりました。

『GIシンポジウム in 萩』がオンライン開催！

山口県萩市・阿武町の6つの酒蔵が製造する日本酒が、「萩」として国税庁から地理的表示（GI）制度に登録されました。6月13日（日）にこのGI制度の普及や認知度向上を目的として、萩市と東京をオンラインで繋いだシンポジウムが開催されました。白井専門員がパネルディスカッションに登壇し、萩の日本酒の地理的な背景を解説しました。事前に送られたGI萩の日本酒を用いて視聴者の方々と会場の皆様とで画面越しにオンライン乾杯も行われました。シンポジウムの様子はYouTubeにて7月4日まで期間限定で公開されています。QRコードからご覧ください。

日本のジオパークが集い、オンライン上で情報交換を行いました！

5月30日（日）、6月6日（日）にJpGU（=Japan Geoscience Union Meeting：日本地球惑星科学連合）が主催するパブリックセッション『自然災害と人～ジオパークで地球の声に耳を澄ます～』がオンラインで行われ、コロナの影響も含めた新たな自然の脅威にジオパークがどのように向き合っているのか、実際の活動内容、今後の課題などを議論しました。

白井専門員が登壇し、オンラインツアーという新しい旅の形を紹介し、他地域の団体も大きな関心を持たれている様子でした。質疑応答において、そのオンラインツアーに関する具体的な手法などの質問が多数寄せられました。

今回のパブリックセッションの動画はYouTubeにて公開されています。QRコードからご覧ください。

令和３年度 萩市ジオパーク活動補助金を交付する２団体が決定しました!!

団体名：山口県立萩商工高等学校

事業名：地球目線で萩を『守る』IOTを活用した萩ジオパーク主要な見どころ来訪人数の調査事業

内容：畳ヶ淵、ホルンフェルスに無人人数カウンターを設置しオーバーユース等を把握する。

交付決定金額：250,000円

畳ヶ淵

団体名：見島と共に生きる会

事業名：見島・八町八反プロジェクト
― 千年の田んぼ・八町八反の成り立ちを探る！―

内容：八町八反の古い溜池の調査を行い「見島フォーラム」で報告討議する。さらに、見島小中学校の児童・生徒を対象に「八町八反ミニツアー」を開催する。

交付決定金額：250,000円

―昨年の予備調査の模様

萩ジオパークパートナー 募集

萩ジオパーク推進協議会では、萩ジオパーク活動の輪を広げるため、萩ジオパークの理念に賛同し共に活動に取り組むパートナーを募集しています。参画を希望される方は、ぜひお申し込みください。

募集期間　令和3年10月29日まで
参画費用　無料
参画条件
〇 萩ジオパークの理念に賛同していること。
〇 業種ごとの共通ジオパーク活動宣言と、1つ以上の独自のジオパーク活動宣言をすること。
応募用紙
萩市ジオパーク推進課（萩明倫学舎2階）に備え付けているほか、萩ジオパーク推進協議会、萩市ジオパーク推進課HPからダウンロードしてください。
提出方法
必要事項を記入の上、萩ジオパーク推進協議会事務局（萩市ジオパーク推進課）までＦＡＸ、郵送、メール、持参のいずれかによりご提出ください。

萩ジオパーク推進協議会　**萩市ジオパーク推進課**

8/1（日）9：00～

弥富においでんさい龍が通った道まつり「探検！畳ヶ淵」

～ あなたの願いもかなうかも「龍の〇〇づくり」～

内容：畳ヶ淵がどのようにしてこのような地形となったのか？謎にせまる！
日程：9：30 弥富交流促進センター⇒（徒歩）⇒10：30 畳ヶ淵⇒（車）⇒12：20 弥富交流促進センター （昼食・解散） ※昼食は弥富そば
募集人数：先着30名（萩市・阿武町在住者に限る）　　参加費：大人1,000 円、 中学生以下500円
募集期間：7月9日（金）　　主催：弥富畳ヶ淵交流事業実行委員会
申込：弥富公民館（08387-8-2044）

7月の予定

● **地球を食べる食堂＃１「須佐ホルンフェルスとケンサキイカ」**　7月10日（土）13：00～15：00　場所：萩市須佐（オンライン開催）　内容：須佐地域の特産“ケンサキイカ”をテーマにバーチャルツアーやクッキング教室を通して、大地の視点、漁師さんの視点、料理人の視点から味わう　参加費・定員：4,500円（基本プラン、20名）、10,000円（大盛りプラン、5名）、500円（視聴のみ、30名）　申込：萩ジオパーク・オンラインショップから申込　販売期間：～7/4　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

〇 **geoとも（萩ジオ友の会）定例会「geoともメッセージday」**　7月18日（日）10：00～16：00　場所：市民活動センター「結」　内容：ジオ談義、活動写真掲示、岩石の名前調べなど　参加費：実費
主催・問合せ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8749-9383）

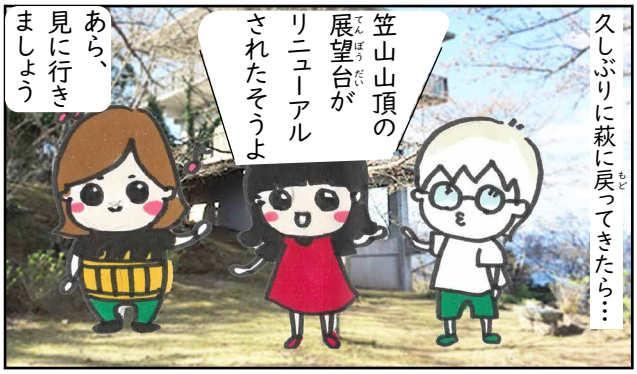
● **【オンラインガイドツアー】『どこでもジオツアー』＃14「萩ジオパークガイドと歩く萩城下町オンライン散策ツアー」（予定）**　7月24日（土）10：00～11：30　旅の舞台：萩城下町　内容：オンライン会議ツール「Zoom」を使って行うオンラインツアー　参加費： 3,000円（お土産つき､10名）　申込：旅行紹介サイト「HIS」からクレジット決済　販売期間：7/10～7/24　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

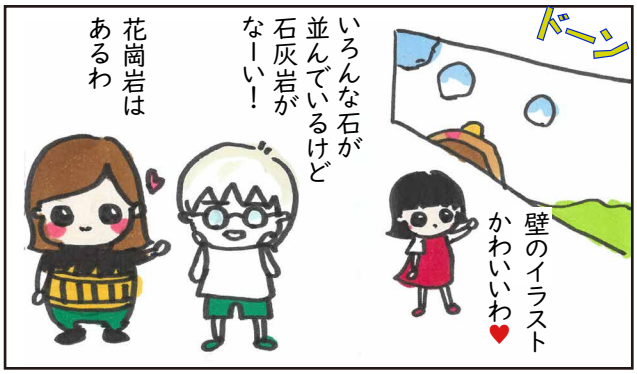
おかえり!!

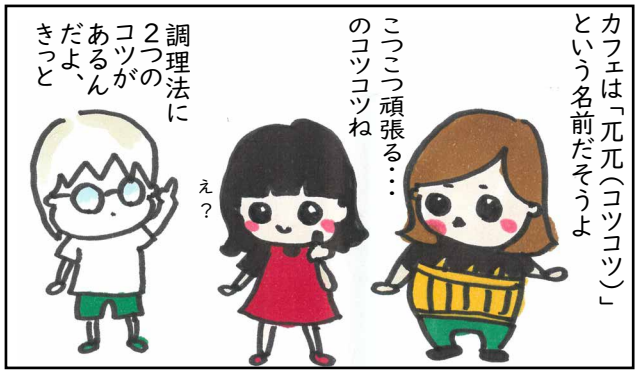
がんばれ!半田(はんだ)くん

原作：わっきー教授　画：白玉だんご

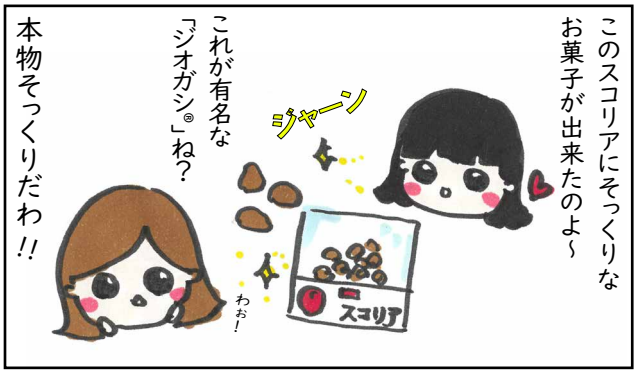
第50話　コツコツ行こうよ!







第51話　ゴツゴツスコリア



あぶら

わっきー教授のつぶやき

半田くんたちは、東北地方や九州、四国を巡って、やっと萩に戻ってきましたね。「可愛い子には旅をさせよ」と良く言いますが、彼らは一回り成長して帰ってきたことと思います。

この旅の間にも、萩ジオパークではいろいろなイベントが行われました。そして、笠山山頂では、展望台がリニューアルオープンしました。２階には、景色と時間をゆっくり楽しむカフェ「兀兀」が完成し、美味しいサンドイッチやケーキ、中国茶などが堪能できます。ファラフェルサンドには、

カフェ兀兀の店内

中東発祥のスパイシーなヒヨコマメのコロッケが挟んであります。バスク地方のチーズケーキに中国茶と、まさにグローバルなメニューが並んでいます。兀兀は、「こつこつ」と読むのですが、ギリシャ文字のパイパイ(ππ)だと思っている人も多いようです。

３階の展望台は、壁一面に萩ジオパークの説明イラストが描かれ、中央に木製の腰掛けがあります。窓際のカウンターテーブルには、萩ジオパークに関連したいくつかの種類の岩石がポツンと置かれています。これらの小さな岩石は、その色合いや手触りから、ジオの秘密を想像させてくれるアイテムとなっています。

さて、この展望台ではもう一つ、新しい発見ができます。それが「ジオガシ®」菓子です。「笠山火山スコリア」という名前のお菓子なのですが、見た目はお菓子というより岩石そのもの。展望台の横の笠山の火口を降りていくと右手に赤茶色のゴツゴツした岩石が出ていますが、これがスコリアです。スコリアは、火山が噴火したとき飛び出したマグマが冷えて岩石になったもので、ガスが抜けて穴だらけになっています。このジオ菓子は、本物の岩石そっくりにできているので、食べると

どちらがお菓子？

きは勇気がいりますが、美味しいです。お友達にこの石は美味しんだと言って驚かせたりして、楽しむことができます。このジオ菓子は、カフェ「兀兀」さんで買うことができます。

３階には日本海を臨むカウンターを設置

この四コマ漫画を読んだ皆さん、ぜひ新しい笠山展望台に行ってみてくださいね。待ってま～す♪